

四 国 植 物 防 疫 研 究

第 14 号

1979 年（昭和54年）7月

目 次

イネ馬鹿苗病の防除に関する研究 第3報 比重選時における種もみの汚染とその後の発病	石井正義	1
イネ育苗箱の薬剤による病害防除	臼井牧夫・飯田定彦	11
オオムギあかぎ二条の種子消毒法	金磯泰雄	19
ソラマメ・ウィルス病の種子伝染に関する研究 第1報 とくに圃場内における種子伝染株からの発病拡散について	橘 泰宣・重松喜昭・吉岡幸治郎	25
<i>Aphanomyces sutschiki</i> DRECHSLER によるエンドウ“すそ枯れ症状”に 対する防除薬剤	福西 務	31
べと病菌によるハナヤサイの“入れ墨”症状	山本 勉	43
T M V 感染による接木トマト台木部のえそ発現—特にT M V 免疫性台木（ア カナス）—感受性穂木（東光—K）の組合せでの発生—	橘 泰宣・重松喜昭	45
四国のうどんこ病菌とその寄主植物(2)	本間善久	53
天敵に対する殺虫剤の選択毒性の評価法	宮井俊一・桐谷丰治	63
抵抗性発達程度の異なるツマグロヨコバイに対する薬剤間における共力効果	吉岡幸治郎	67
ポンカンにおけるミカンツボミタマバエの発生と防除	大沢敏郎・川村 満・光江修一	73
ビニールハウス栽培イチゴにおけるナミハダニの発生と防除薬剤の殺虫効果 について	山崎康男・吉岡幸治郎・寺谷敏雄	79
カブラヤガ細胞質多角体病ウィルスについて Ⅲ 多角体の散布濃度と効果の問題について	安富範雄・尾崎幸三郎	83
カブラヤガ細胞質多角体病ウィルスについて Ⅳ ミスト散布と通常散布による <i>AfCPV</i> のカブラヤガに対する効果	尾崎幸三郎・安富範雄	87
イチゴセンチュウによるジャクヤクの被害と線虫の侵入・増殖の時期	加々美好信・脇屋春良・藤田育資	93
本会記事		99
本年度特異的な発生をした病害虫とその対策ならびに水田利用再編によって 導入された作物の病害虫と防除上の問題点（昭和53年度）		100
会員消息		105